

# 使用上のご注意

## 見る場所について

- 画面の縦の長さの5～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすく疲れません。ただし、ワイドクリアビジョン、ハイビジョン放送の場合は、画面の縦の長さの3倍程度の場所でご覧ください。
- 適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

## 音量について

- 周辺の人への迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣り近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

## スクリーン(モニター部の画面)について

- スクリーンは傷つきやすいため、硬いものでこすったり、たたいたり、ぶついたりしないでください。特に、移動のときは、スクリーンを傷つけないように注意してください。

## 液晶画面について

- 画面を太陽に向けたままにしないでください。液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 停電や瞬電が起こった後に画面をつけた場合、画面に焼き付きが生じることがありますが、故障ではありません。時間の経過とともに元に戻ります。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Printed in Japan

## 乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

### ⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

### ⚠注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

SONY

3-858-741-01 (1)



警告

## 取扱説明書

# 安全のために

ご使用前に、この「安全のために」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

テレビは正しく使用すれば事故がおきないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、内部に高い電圧を使用しているため、まちがった使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

## 定期的な点検する

お買い上げ時とそのあと1年に1度は「安全点検リスト」に従って点検してください。

5年に1度は内部の点検をお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください(有料)。

## 故障したら使わない

すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、倒したり、キャビネットを破損したときは



- 電源を切る
- 電源プラグをコンセントから抜く
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水場での使用禁止



接触禁止

行為を指示する記号



強制



プラグをコンセントから抜く

©1996 by Sony Corporation



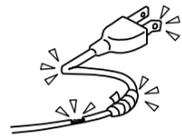
# 安全点検リスト

印のチェック項目の中に1つでも「はい」があると危険です。そのときはすぐに対処してください。

## スタート

設置したらすぐにチェックを！  
そのあとの点検は1年に1度。  
設置したすぐあとの初めてのチェックですか？

いいえ  
電源コードを動かすと、電源が入ったり切れたりする  
電源コードが折れ曲がっている、キズついている  
電源コードやプラグが異常に熱い

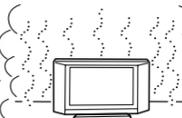


はい

**警告**  
火災 感電  
そのままお使いになりますと火災・感電の原因となります。

① すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。  
プラグをコンセントから抜く  
② お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

いいえ  
本体が異常に熱い  
異常な熱や煙が発生したり、変な臭いや音(パチパチ)がする  
通気孔から水や異物が入った形跡がある

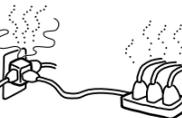


はい

そのままお使いになりますと事故の原因となります。

電源コードは専用のコンセントにつなぎ、上には何ものせないでください。

いいえ  
たこ足配線している  
電源コードが他のもの下敷きになっている



はい

そのままお使いになりますと事故の原因となります。

油気、湿気の少ない、換気のよい場所に置いて、転倒防止をしてください。

いいえ  
布やテーブルクロスで通風孔をふさいでいる  
花瓶や植木鉢をのせている  
油煙、湯気、湿気、ほこりの多いところに置いている  
不安定な置きかたをしている  
転倒防止用具が正しく使われていない



はい

OK!  
これからも安全にお使いください。

残りの項目もチェックしてください。

## チェックのしかた

- ▶ 点検日を下記の欄にご記入ください。
- ▶ 右図の矢印をたどりながら各項目の にチェックしていきます。
- ▶ 故障内容(あれば)を下記にご記入ください。

## 点検日 / 故障内容

1回目、お買い上げ時

年月 /	
------	--

2回目以降、1年ごと

年月 /	

ご相談になるときには、次のことをお知らせください。

型名: PZ-2500  
ソニープラズマトロンカラーテレビ

故障の状態(できるだけ詳しく)

購入年月日:           年 月 日

お買い上げ店:           TEL

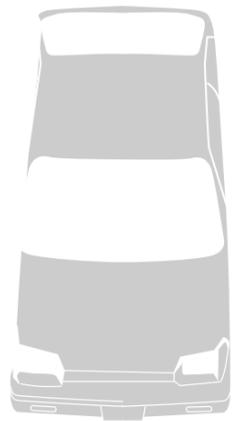
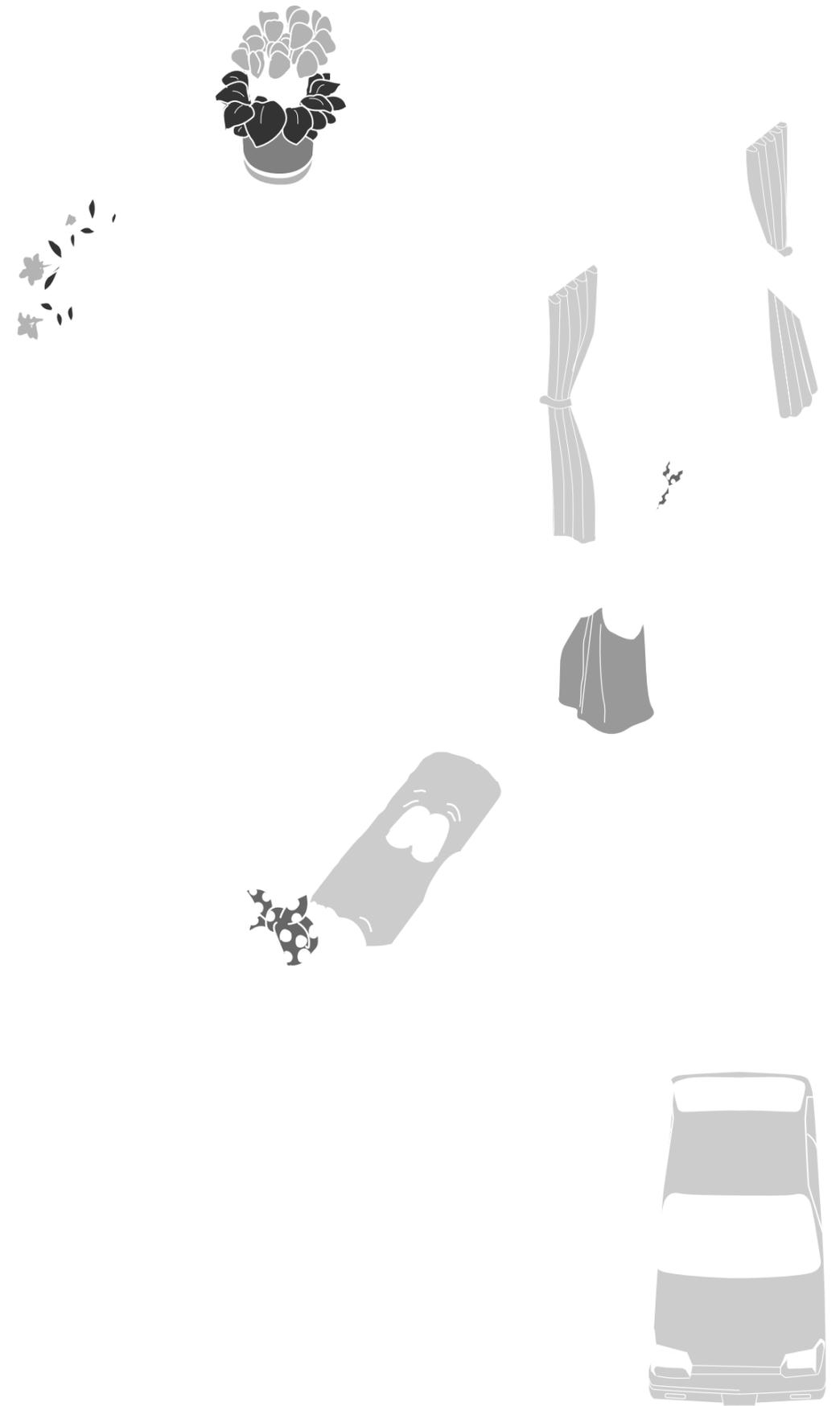
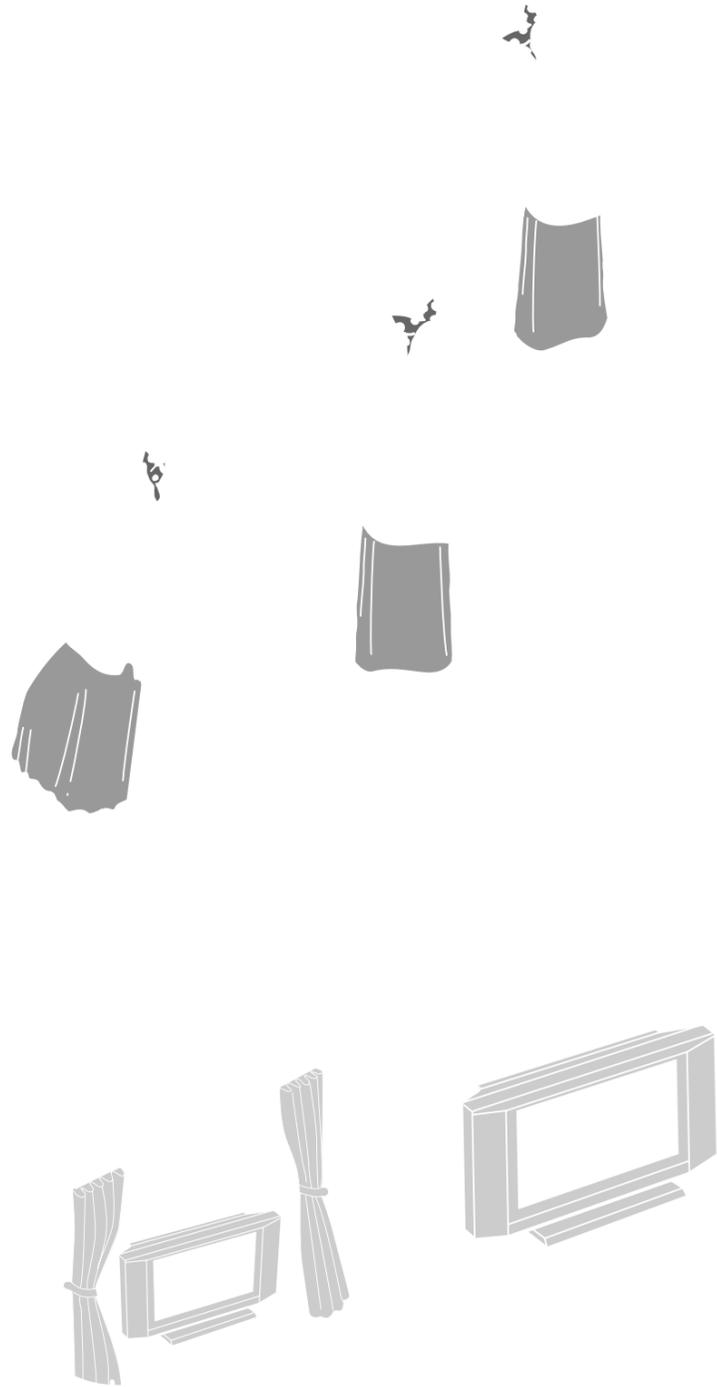
\_\_\_\_\_



火災



感電





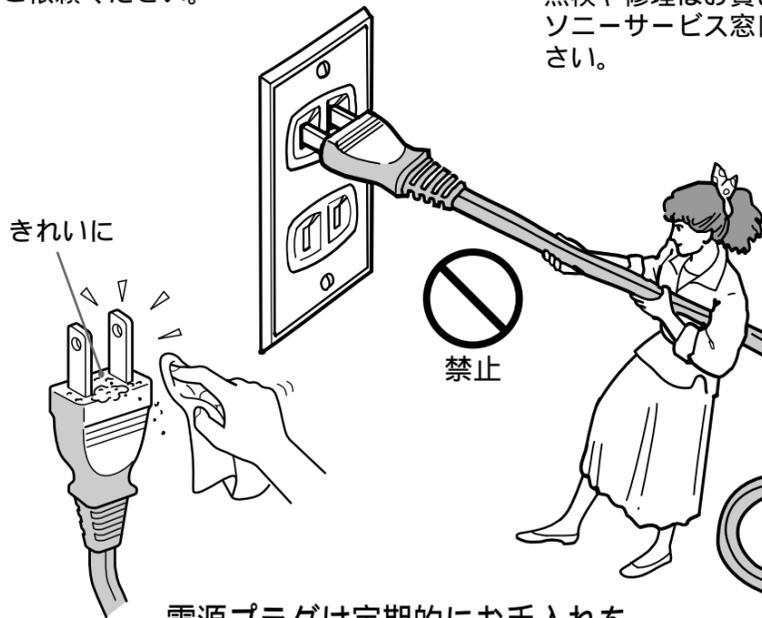
下記の注意を守らないと**火災・感電**により死亡や大けがの原因となります。

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



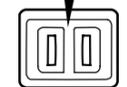
### 電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



強制

交流100V



### 本機は国内専用です

交流100Vの電源電圧でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

### モニター部裏面の通風孔に異物を入れない

通風孔に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、ファンが停止したり、火災や感電の原因となります。



禁止

### 内部を開けない

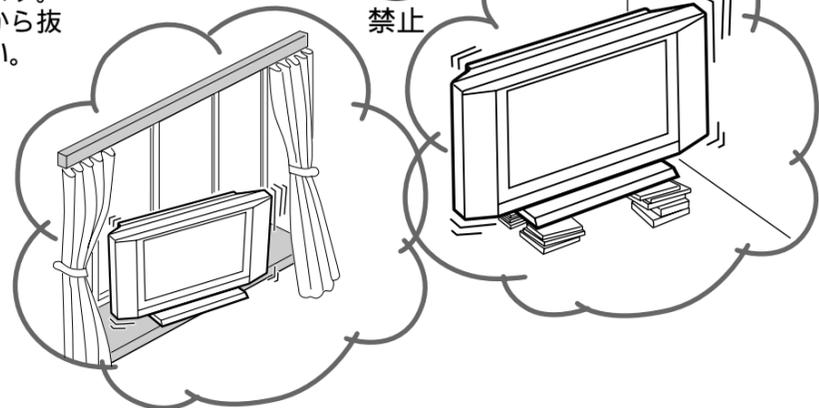
内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



禁止



### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところ、高い場所などに置くと、テレビが落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。また、出窓などの高いところに置いたときも、テレビが落ちたり倒れたりしたとき、危険です。ご注意ください。



水場での使用禁止

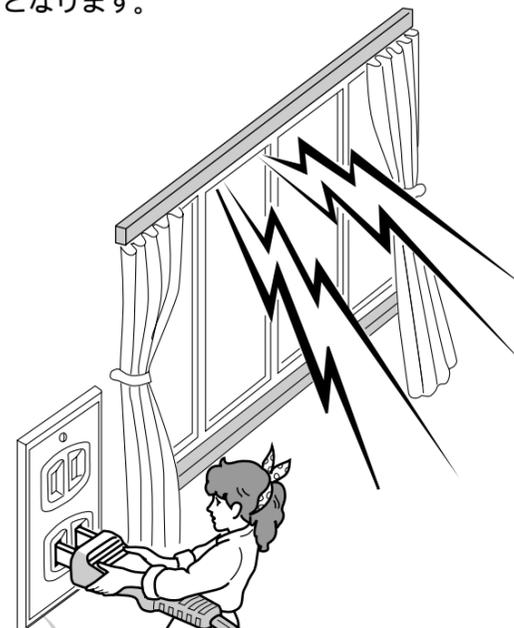
### 水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。



禁止

テレビの上に水が入ったものを置かない  
内部に水が入ると火災や感電の原因となります。



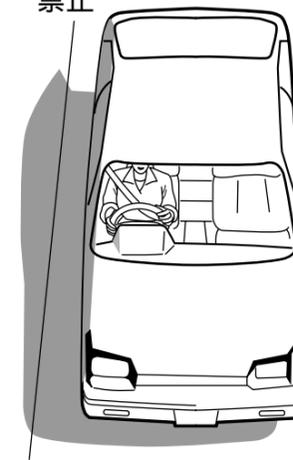
接触禁止

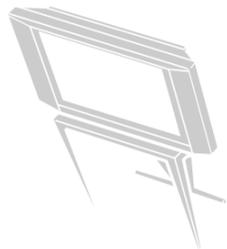
雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない  
感電の原因となります。



禁止

車の中では使わない  
いでください





**注意**

下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の  
家財に損害を与えたりすることがあります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグに  
さわらない  
ぬれた手で電源プラグの抜き  
差しをすると、感電の原因と  
なることがあります。

長期間の外出、旅行  
のときは、電源プラ  
グを抜く

安全のため、必ず電源プラ  
グをコンセントから抜  
いてください。

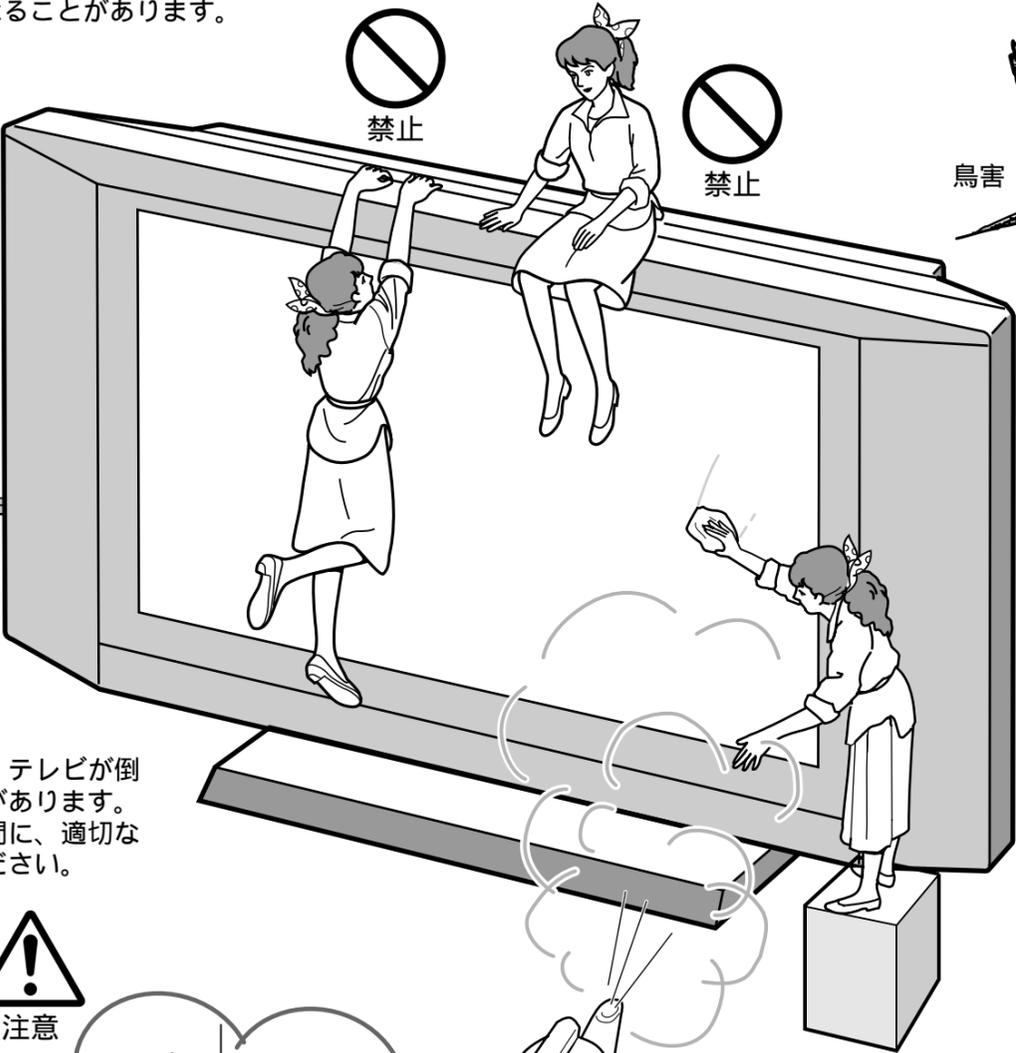


  
プラグをコン  
セントから抜く

移動させるときは、電源プラグを  
抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。また、接続コードも必ず抜いてください。チューナー部は、留め金に引っかけるだけの構造になっていますので、移動の際には、モニター部から必ずはずしてください。開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。また、床の材質により傷がつきやすいものもありますので十分ご注意ください。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。

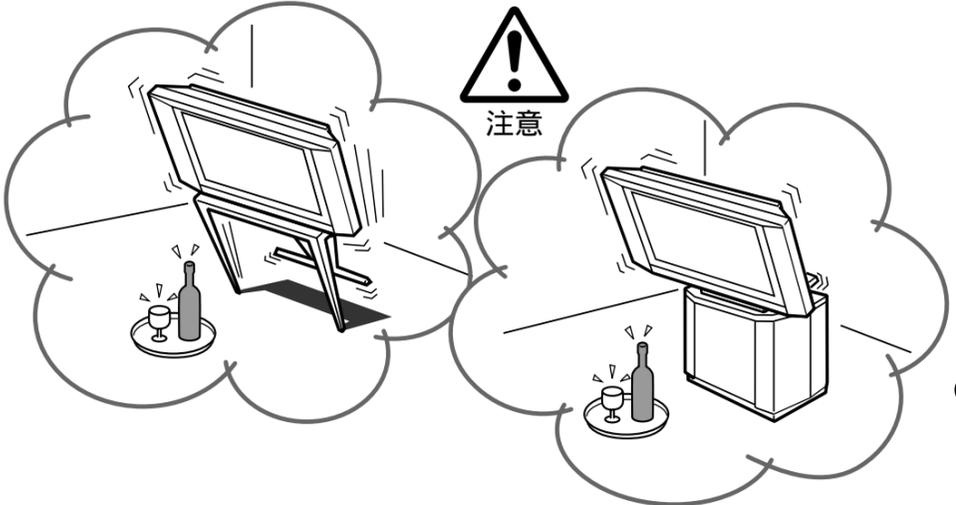
テレビにぶらさがらない、上に乗らない、  
重いものを置かない  
倒れたり、落ちたり、こわれたりして、けがの原  
因となることがあります。



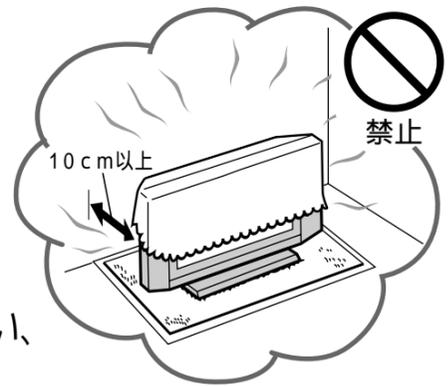
  
禁止

  
禁止

  
注意



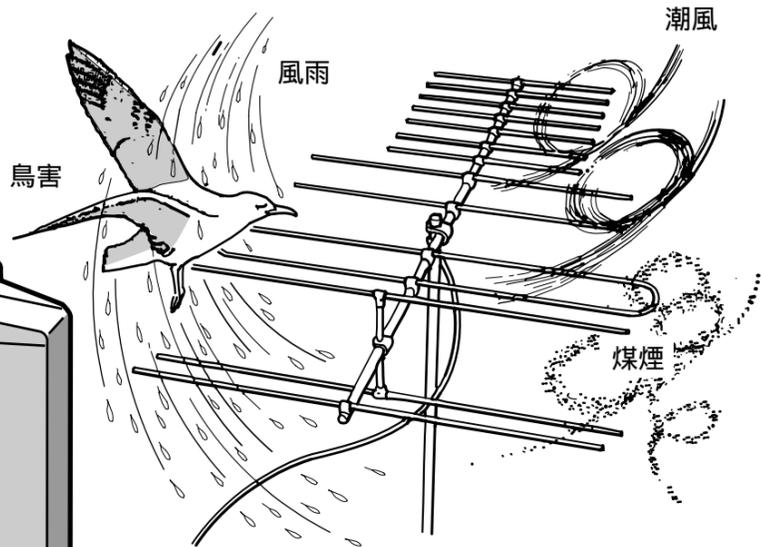
転倒防止の処置をする  
転倒防止の処置をしないと、テレビが倒  
れてけがの原因となることがあります。  
スタンドや床、壁などとの間に、適切な  
転倒防止の処置を行ってください。



  
禁止

通風孔をふさがない  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因とな  
ることがあります。風通しをよくするために、壁から  
10cm以上離して置いてください。  
・あお向けや横倒し、逆さまにしない。  
・棚や押入の中に置かない。  
・毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かない。  
・布をかけない。

アンテナの工事は電気店に依頼する  
アンテナ工事には技術と経験が必要で  
すので、必ず電気店にご依頼ください。



  
プラグをコン  
セントから抜く

お手入れの際は、電源プラグ  
を抜く  
電源プラグを差し込んだままお  
手入れをしたり、ぬれた手で電源  
プラグを抜いたりすると、感電の原  
因となることがあります。



  
禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所  
や虫の入りやすい場所、直射日光が当  
たる場所、熱器具の近くに置かない  
火災や感電の原因となることがあります。